

施策名：GIGAスクール構想の実現

文部科学省情報教育・外国語教育課
03-6734-2085 jogai@mext.go.jp

分野

医療・教育分野での未来技術の活用

総合戦略
該当箇所

横2-1-(2)-vi

予算額

令和2年度第3次補正
20,872百万円

特徴・
ポイント

- ✓ 児童生徒一人一台端末をはじめとした学校ICT環境の整備等に取り組む
- ✓ 高等学校段階の低所得世帯等の生徒が使用する端末整備の支援など、「GIGAスクール構想」の更なる拡充に取り組む

目的

- デジタル化の推進は、質の高い教育を実現する上で必要不可欠であり、Society5.0時代を生きる子供たちに相応しい、全ての子供たちの可能性を引き出す個別最適な学びと協働的な学びを実現する
- これまで学校ICT環境整備において自治体間で生じていた格差を早急に是正するため、地域を問わず学校ICT環境の整備を全国一斉に進める

概要

- 義務教育段階の児童生徒1人1台端末や高速大容量の通信ネットワークなどの整備に加えて、低所得世帯の高校生に対する貸与等を目的として設置者が行う端末整備に対する支援等を実施
- これまで実施してきた障害のある児童生徒のための入出力支援装置や、家庭学習のための通信機器等の支援についても、高等学校段階等へ対象を拡充

児童生徒の端末整備支援

○ 「1人1台端末」の実現

- ◆ 国公立の小・中・特支等義務教育段階の児童生徒が使用するPC端末整備を支援

対象：国・公・私立の小・中・特支等	令和元年度 1,022億円
国立、公立：定額(上限4.5万円)	令和2年度1次 1,951億円
私立：1/2(上限4.5万円)	

- ◆ 国公立の高等学校段階の低所得世帯等の生徒が使用するPC端末整備を支援

対象：国・公・私立の高等学校等	令和2年度3次 161億円
国立、公立：定額(上限4.5万円)	
私立：原則1/2(上限4.5万円)	

○ 障害のある児童生徒のための入出力支援装置整備

- 視覚や聴覚、身体等に障害のある児童生徒が、端末の使用にあたって必要となる
- 障害に対応した入出力支援装置の整備を支援**
- | | |
|---------------------|--------------|
| 対象：国・公・私立の小・中・高・特支等 | 令和2年度1次 11億円 |
| 国立、公立：定額 私立：1/2 | 令和2年度3次 4億円 |



緊急時における家庭でのオンライン学習環境の整備

○ 家庭学習のための通信機器整備支援

- Wi-Fi環境が整っていない家庭に対する貸与等を目的として自治体が行う、**LTE通信環境(モバイルルータ)の整備を支援**
- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 対象：国・公・私立の小・中・高・特支等 | 令和2年度1次 147億円 |
| 国立、公立：定額(上限1万円) 私立：1/2(上限1万円) | 令和2年度3次 21億円 |

○ オンライン学習システム(CBTシステム)の導入

- 学校や家庭において端末を用いて学習・アセスメントが可能な**オンライン学習システム(CBTシステム)の全国展開等**
- | |
|--------------|
| 令和2年度1次 1億円 |
| 令和2年度3次 22億円 |

詳細